

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)						区分・【新主題】/(分野)		授業形式											
E142L033		マルチメディア技術 (Multimedia Technology)								対面											
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語		その他に使用する言語		担当形態											
選択	2	3	教育学部			日本語				単独											
担当教員	氏名 市原靖士																				
	E-mail ichihara-yasushi@oita-u.ac.jp 内線																				
授業の概要	マルチメディアに関する理論を学び、実践的、応用的に活用する方法を習得する。																				
具体的な到達目標													DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1	マルチメディアの基礎的な知識や技能を習得する																				
目標2	マルチメディアの制作実習を通して実践力を身につける																				
目標3																					
目標4																					
目標5																					
目標6																					
目標7																					
目標8																					
目標9																					
目標10																					
各DPへの関連度(計10)													6	4							
授業の内容																					
1	マルチメディアの概要																				
2	マルチメディアの歴史																				
3	マルチメディアの現状																				
4	テキストを中心としたマルチメディアとweb技術																				
5	音声を中心としたマルチメディアとweb技術																				
6	動画を中心としたマルチメディアとweb技術																				
7	マルチメディア制作の基礎的な構想																				
8	マルチメディア制作の基礎的な設計																				
9	マルチメディア制作の基礎技術																				
10	マルチメディア制作の応用技術																				
11	マルチメディアの制作実践 1																				
12	マルチメディアの制作実践 2																				
13	制作作品の発表 1																				
14	制作作品の発表 2																				
15	まとめ																				
ラーニング目標	A:知識の定着・確認		マルチメディアに関する知識をもとに制作し、作品について発表、協議をする。						工夫その他の	外部講師による実践事例											
	B:意見の表現・交換																				
	C:応用志向																				
	D:知識の活用・創造																				
授業時間外学修内容 と想定時間	準備学修		アプリケーションソフトの設定と環境整備など																		
	事後学修		マルチメディア作品の設計、構想等																		
	想定時間合計																				
教科書	なし																				
参考書	入門マルチメディア[改訂新版] 画像情報教育振興協会2,018年出版 ISBN4903474607																				

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	制作作品	40%										
	発表	20%										
	試験	40%										
注意事項	PCの必携											
備考												
リンク												
	URL											
担当教員の 実務経験の有無												
教員の 実務経験	中学校教員（１０年以上）											